

2025年3月期 第3四半期決算説明会

2025年1月31日
株式会社エンプラス
(東証プライム 6961)

目次

決算概況

- 2025年3月期 第3四半期 決算説明
- 2025年3月期 連結業績見通し

各事業の動向と事業方針

決算概況

2025年3月期 第3四半期損益実績(連結)

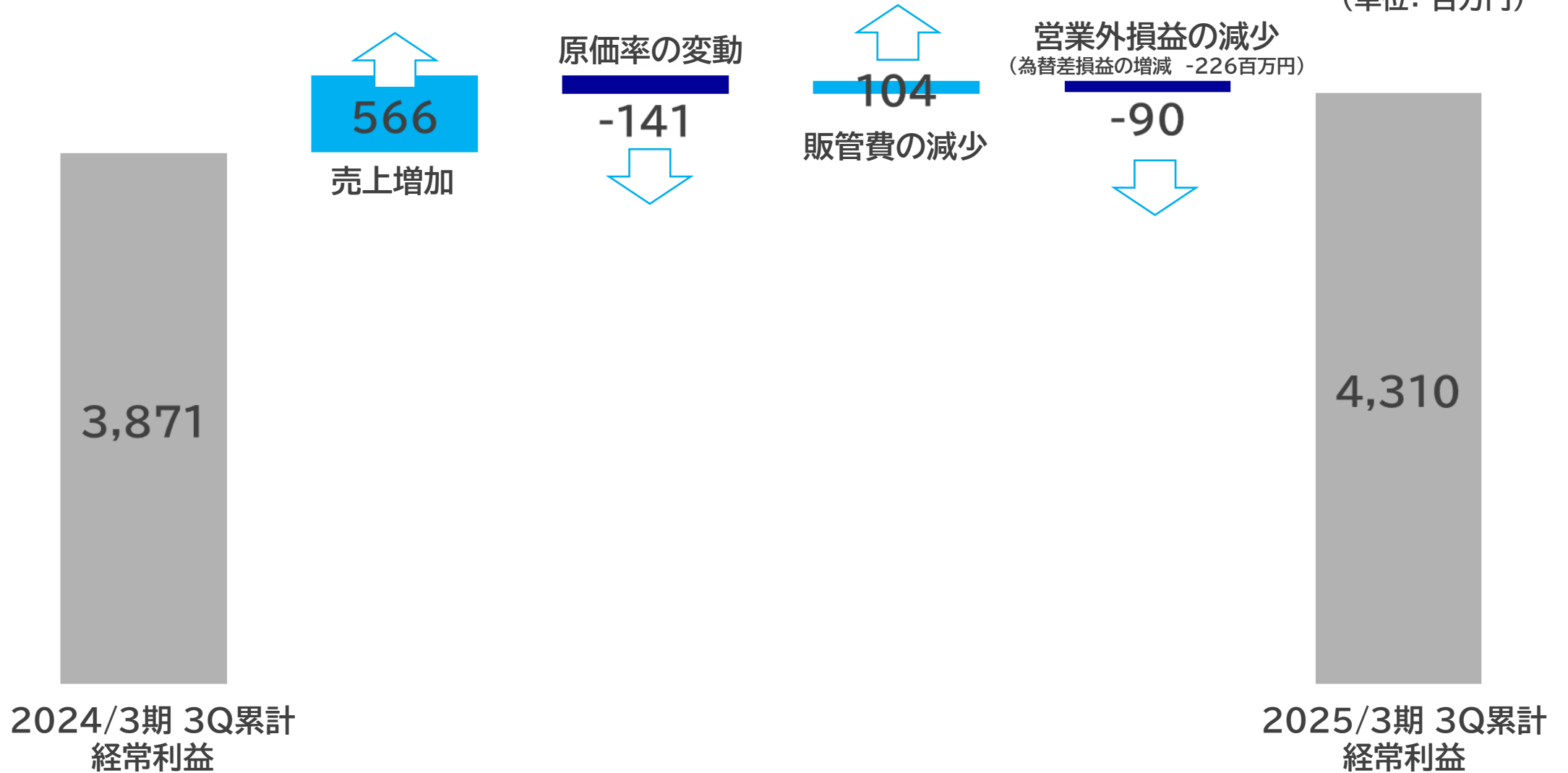
(単位: 百万円)

	2024/3期 3Q累計実績	2025/3期 3Q累計実績	増減	(参考) 通期計画
売上高	27,954	28,805	+3.0%	41,500
売上原価率	53.9%	53.8%	-0.1pt	53.2%
営業利益	3,554	4,084	+14.9%	6,600
営業利益率	12.7%	14.2%	+1.5pt	15.9%
経常利益	3,871	4,310	+11.3%	7,000
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,284	2,872	+25.8%	4,800
1株当り四半期純利益	258.78円	325.21円	+66.43円	543.69円
期中平均レート(US\$)	142.76円	152.85円	+10.09円	(計画レート) 145.00円

為替感応度(US\$):売上高 約200百万円/年、営業利益 約150百万円/年

経常利益の増減分析<前3Q累計比>

(単位: 百万円)



参考:セグメントの費用配賦の方針変更について

当連結会計年度より、事業セグメントの業績をより適切に反映させるため、研究開発費の配賦基準を見直し、事業セグメントの利益又は損失の算定方法の変更を行っております。

変更内容

- Life Scienceに含めていた新事業の研究開発費を売上比率により全セグメントに配賦

変更理由

- 2024/3期まではLife Scienceの事業領域を広く捉えていたため、新事業の研究開発費を全てLife Scienceに計上
- 2025/3期から、Life Scienceは手広く事業拡大を図るのではなく、分野を絞って収益性の確保へと方針転換
- 今後、新事業の研究開発はLife Science以外が増加することを見込んでおり、売上比率により全セグメントに配賦

2025年3月期 第3四半期セグメント別実績(連結)

(単位: 百万円)

		2024/3期		2025/3期	方針変更後の 増減
		方針変更前の3Q累計	方針変更後の3Q累計	3Q累計実績	
Semiconductor	売上高	12,110	12,110	11,986	-1.0%
	売上原価率	53.6%	53.6%	52.2%	-1.4pt
	営業利益	1,341	1,125	1,109	-1.4%
Life Science	売上高	1,853	1,853	2,109	+13.8%
	売上原価率	60.5%	60.5%	62.0%	+1.5pt
	営業利益	-893	-427	126	-
Digital Communication	売上高	4,397	4,397	4,109	-6.5%
	売上原価率	22.6%	22.6%	22.3%	-0.3pt
	営業利益	2,419	2,340	2,221	-5.1%
Energy Saving Solution	売上高	9,592	9,592	10,599	+10.5%
	売上原価率	67.5%	67.5%	66.2%	-1.3pt
	営業利益	687	516	625	+21.1%

連結四半期損益実績推移

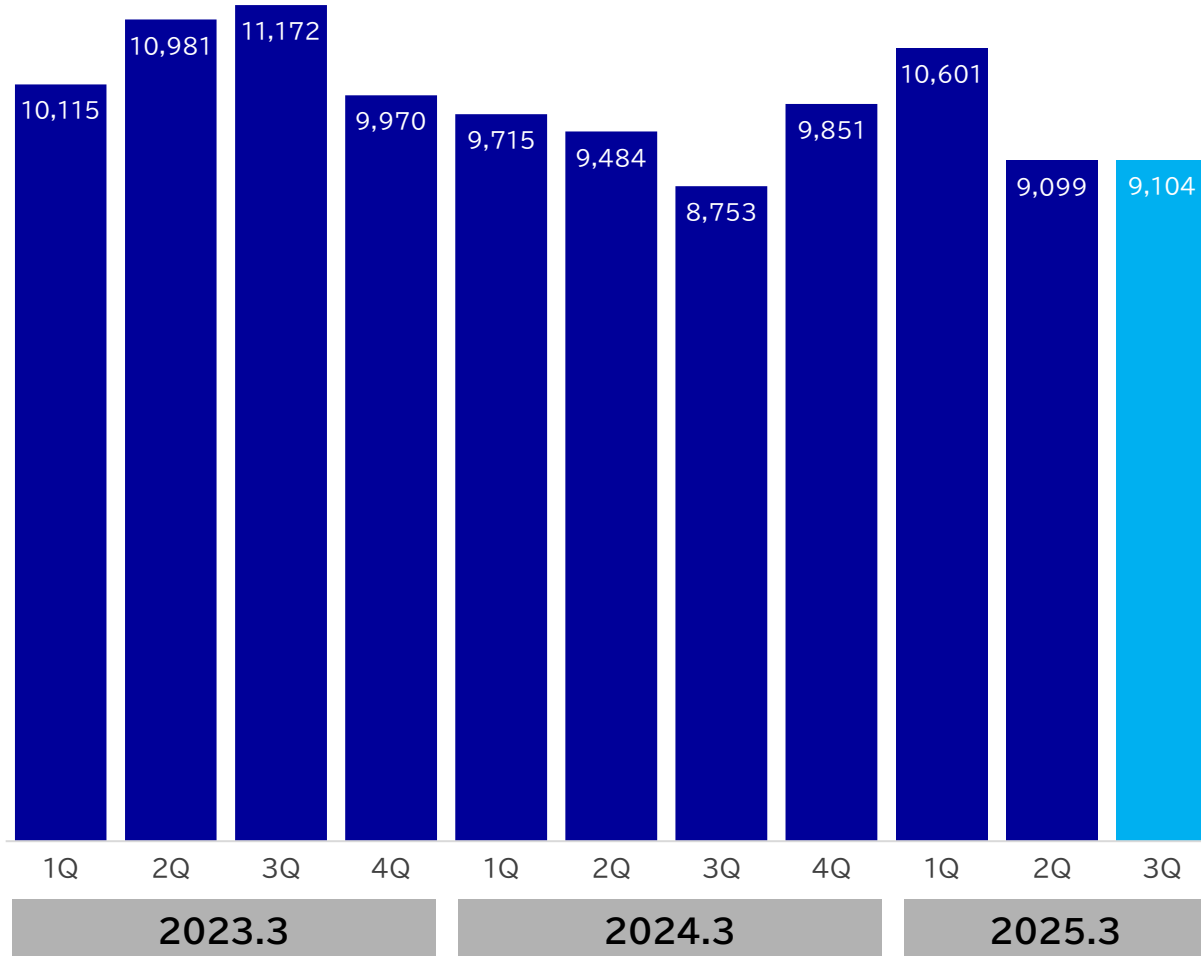
(単位: 百万円)

	2024/3期		2025/3期		
	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
売上高	8,753	9,851	10,601	9,099	9,104
売上原価率	54.8%	58.1%	50.9%	52.7%	58.4%
営業利益	938	1,090	2,153	1,200	729
営業利益率	10.7%	11.1%	20.3%	13.2%	8.0%
経常利益	775	1,392	2,334	810	1,166
親会社株主に帰属する 四半期純利益	485	1,159	1,518	576	777
1株当り四半期純利益	54.98円	131.35円	172.00円	65.23円	88.02円

連結四半期損益実績推移

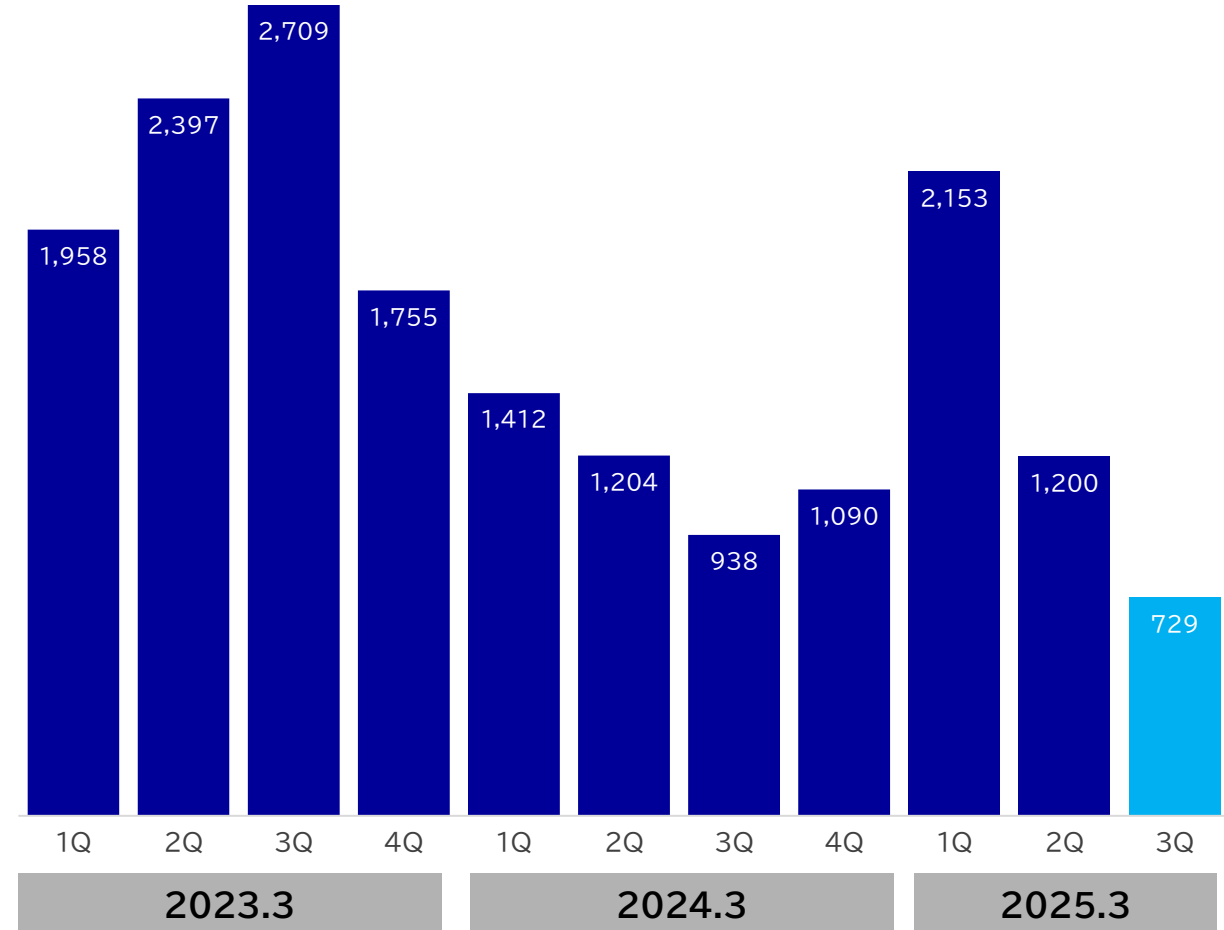
<売上高の推移>

(単位: 百万円)



<営業損益の推移>

(単位: 百万円)



参考:セグメント別四半期損益実績推移(連結)

(単位: 百万円)

		2024/3期*		2025/3期		3Q
		3Q	4Q	1Q	2Q	
Semiconductor	売上高	3,422	4,566	4,570	3,686	3,730
	売上原価率	56.5%	59.3%	49.8%	51.2%	56.3%
	営業利益	42	336	719	302	87
Life Science	売上高	593	514	766	704	638
	売上原価率	55.4%	58.1%	57.4%	54.7%	75.6%
	営業利益	-90	-125	115	80	-69
Digital Communication	売上高	1,424	1,239	1,705	1,272	1,131
	売上原価率	22.7%	23.4%	19.9%	22.1%	26.2%
	営業利益	754	683	1,065	637	518
Energy Saving Solution	売上高	3,313	3,530	3,558	3,436	3,604
	売上原価率	66.6%	68.6%	65.7%	65.2%	67.7%
	営業利益	231	196	253	179	192

※2024/3期の営業利益は、研究開発費の配賦基準の見直し後の算定方法によるものです。

決算総括

2025年3月期 第3四半期 損益実績

- Semiconductor事業とDigital Communication事業は低調に推移したものの、他セグメントは堅調に推移し、前年同期比で増収増益
(売上高+3.0%、営業利益+14.9%、親会社株主に帰属する四半期純利益+25.8%)

Semiconductor事業

- サーバー用途は汎用サーバー需要の回復遅れ、自動車用途は顧客の在庫調整により、減収
- 将来の成長に向けたテスト用ソケットの技術開発に注力

Life Science事業

- 一部既存顧客からの受注の増加および新規量産品の立ち上げにより、増収

Digital Communication事業

- 光通信関連は、顧客の次世代製品への移行を踏まえた在庫調整等により、減収

Energy Saving Solution事業

- 自動車の電装化に対応した低騒音・高効率ギヤソリューションビジネスの拡大により、増収

決算総括

➤ 販売管理費

(単位: 百万円)

2024/3期 3Q累計	2025/3期 3Q累計	差異
9,320	9,216	-104

- 労務費 -153百万円
- 旅費交通費 -87百万円
- 研究開発費 +73百万円

➤ 営業外損益

(単位: 百万円)

2024/3期 3Q累計	2025/3期 3Q累計	差異
316	226	-90

2025/3期 3Q累計実績

- 受取利息 334百万円
- 為替差損 121百万円(2024/3期 3Q累計 為替差益 105百万円)

2025年3月期 連結業績見通し

2025年3月期 連結業績見通しの前提

連結業績

- 事業計画レート(US\$):145.00円 → 150.00円

Semiconductor事業

- 汎用サーバー、車載の市場低迷が継続

Digital Communication事業

- 光通信関連は、顧客の次世代製品への移行を踏まえた在庫調整等が継続

Life Science事業、Energy Saving Solution事業

- 2024年7月31日の業績見通しから変更なし

2025年3月期 連結業績見通し

(単位: 百万円)

	2025/3期	2025/3期	
	3Q累計実績	通期(7月時点)	通期(修正)
売上高	28,805	41,500	38,000
売上原価率	53.8%	53.2%	54.1%
営業利益	4,084	6,600	5,100
営業利益率	14.2%	15.9%	13.4%
経常利益	4,310	7,000	5,500
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,872	4,800	3,600
1株当り当期純利益	325.21円	543.69円	407.46円
配当金	30.00円	60.00円	60.00円

2025年3月期 セグメント別売上見通し

(単位: 百万円)

	2025/3期	2025/3期	
	3Q累計実績	通期(7月時点)	通期(修正)
Semiconductor	11,986	18,500	16,000
Life Science	2,109	2,800	2,800
Digital Communication	4,109	6,000	5,000
Energy Saving Solution	10,599	14,200	14,200

参考:2025年3月期 設備投資・減価償却・研究開発の見通し

(単位: 百万円)

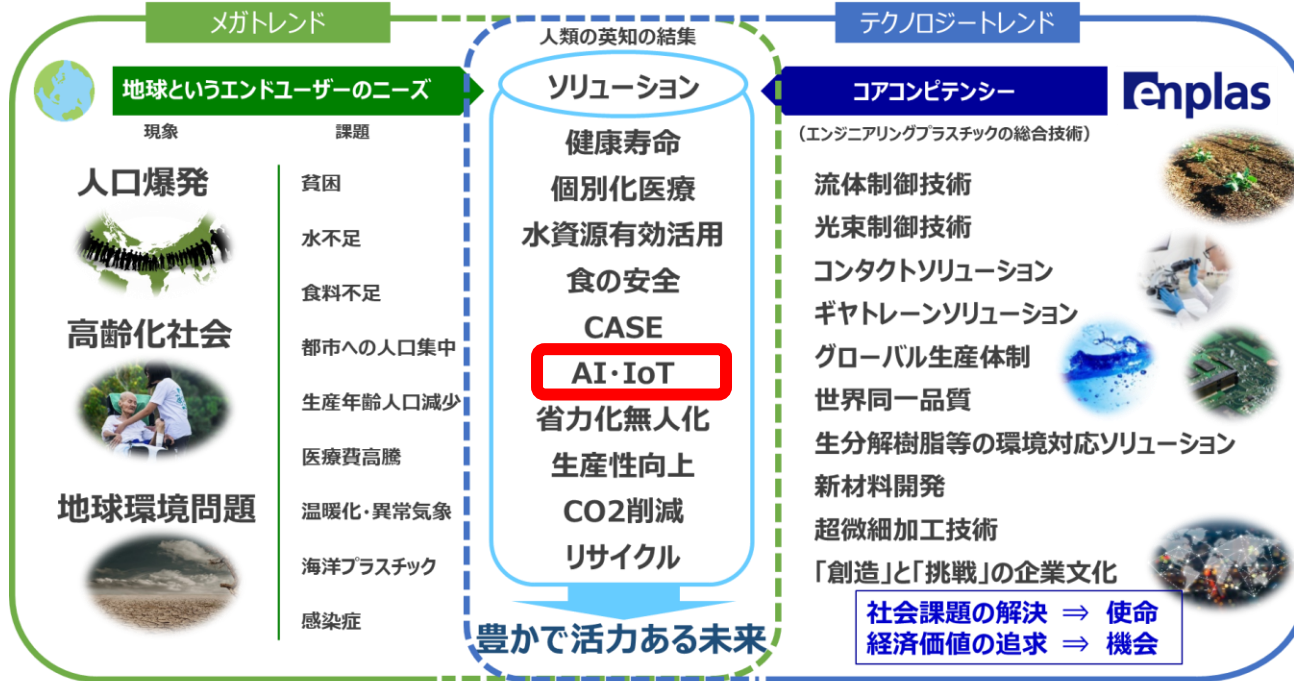
	2024/3期	2025/3期	2025/3期
	通期実績	3Q累計実績	通期
設備投資	4,014	5,723	7,000
長期投資・環境投資	283	3,867	3,800
成長分野への投資	2,300	615	1,700
その他の設備投資	1,431	1,241	1,500
減価償却	2,385	1,793	2,500
研究開発	1,343	1,078	1,600

※2024年4月30日の業績見通しから変更してありません。

各事業の動向と事業方針

今後のEssential領域への事業展開について

当社の取り組み



Copyright ©2021 ENPLAS CORPORATION, All rights reserved

19

2021/4/30公開



AI社会実装の早期化による競争環境の変化への対応



変化を見据えた組織体制(マーケティング、開発、サプライチェーン)の抜本的な改革

Semiconductor事業

市況

- 汎用サーバー、車載の市場低迷継続
- AIサーバー市況は活況

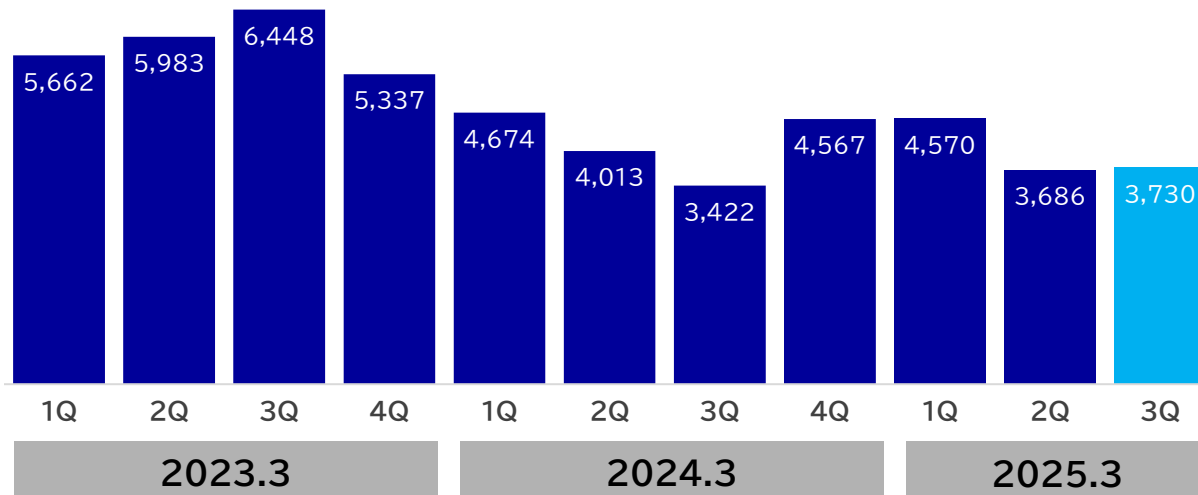
事業方針

- バーンインソケットは、AIサーバー向けおよび次世代バーンインシステム向けへの新ソリューション開発推進
- SLT※領域へのヒト、モノ、カネのリソースの集中

※SLT:システムレベルテスト

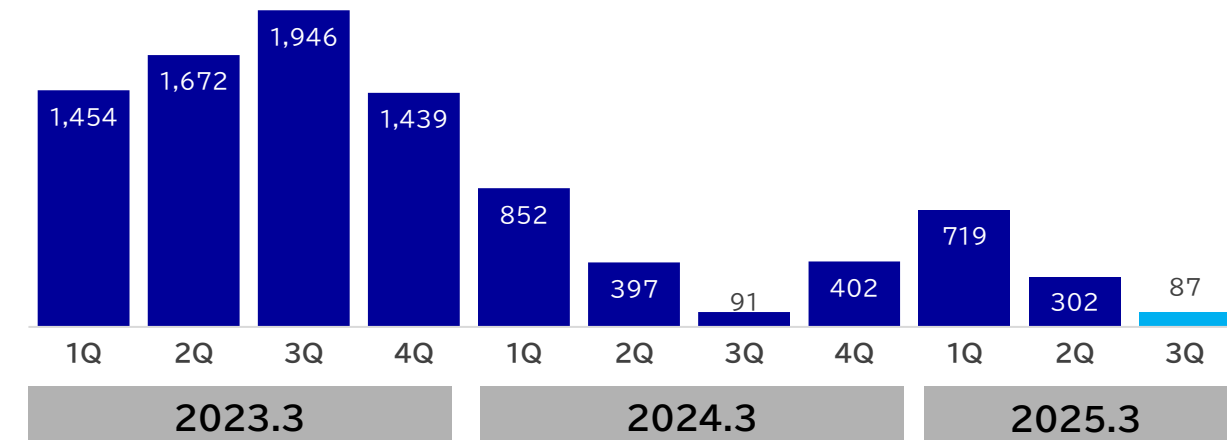
<売上高の推移>

(単位: 百万円)



<営業損益の推移>

(単位: 百万円)



※2023/3期、2024/3期は方針変更前の実績にしております。

Life Science事業

市況

- ライフサイエンス市場全体の低迷により在庫調整が継続

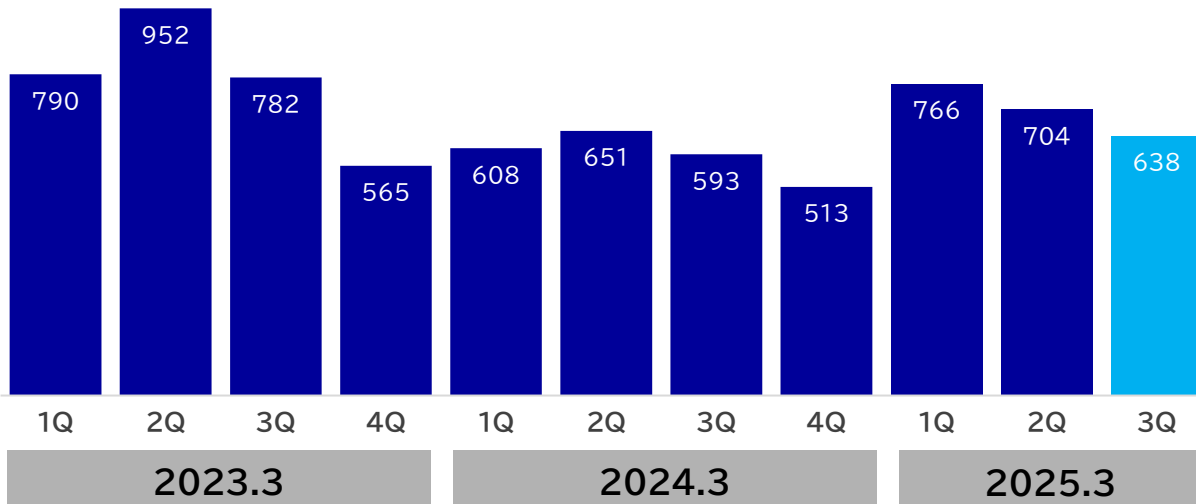
事業方針

- デジタルPCR※市場での競争力強化と黒字化
- 来期以降はデジタルPCR以外への事業展開（間口を広げる）

※デジタルPCRは、核酸を分割・個別に増幅させることで、標的にした核酸が何個あるのかデジタルで絶対定量できる次世代PCR技術です。

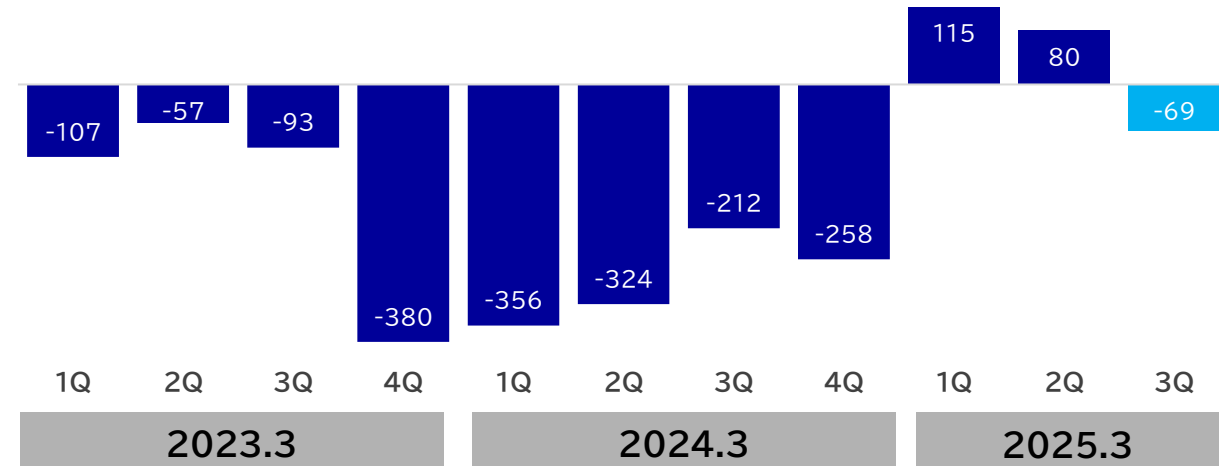
<売上高の推移>

(単位: 百万円)



<営業損益の推移>

(単位: 百万円)



※2023/3期、2024/3期は方針変更前の実績にしております。

Digital Communication事業

市況

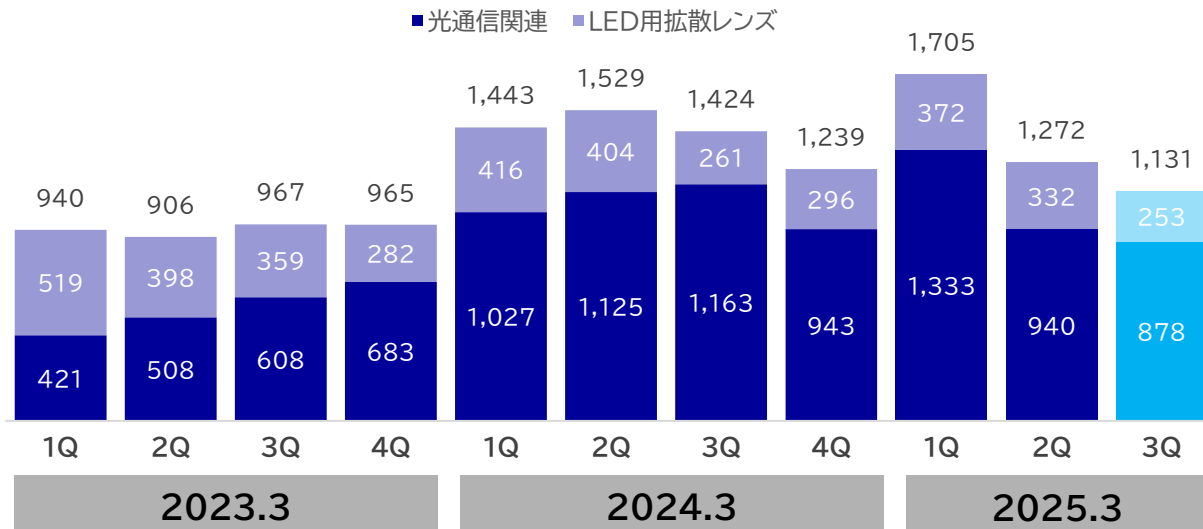
- 1.6Tへの切り替えによる800G製品の在庫調整
- 1.6Tはシングルモードが採用先行予定
(マルチモードの開発遅延)

事業方針

- レーザー開発ロードマップに合わせた製品開発促進
(1.6Tシングル、マルチモード対応レンズ開発)
- AI社会実装に向けた新領域への事業展開
- 光トランシーバーレンズ以外の新しい光学部品の開発品を上市し、量産開始

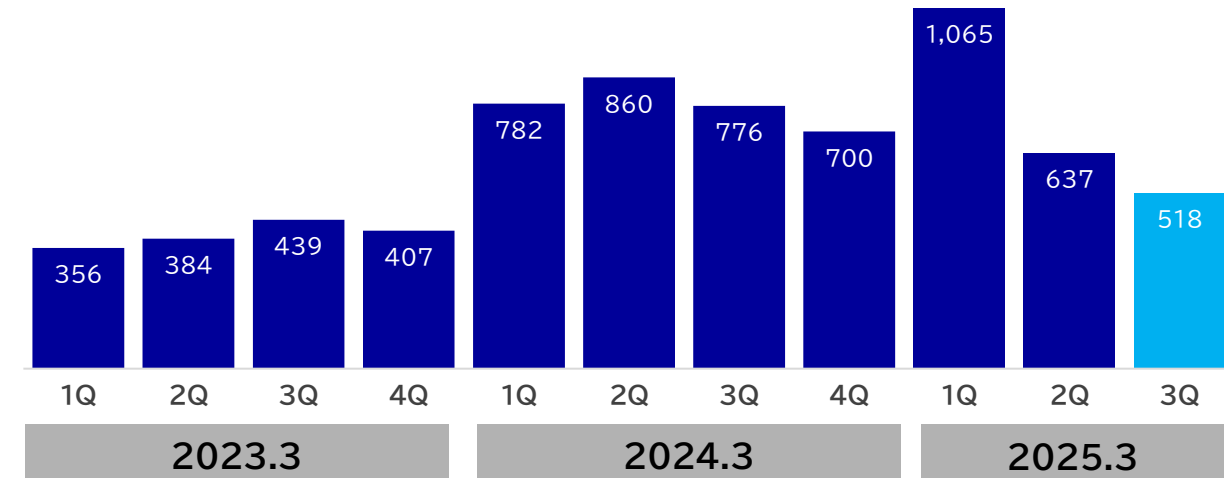
<売上高の推移>

(単位: 百万円)



<営業損益の推移>

(単位: 百万円)



※2023/3期、2024/3期は方針変更前の実績にしております。

Energy Saving Solution事業

市況

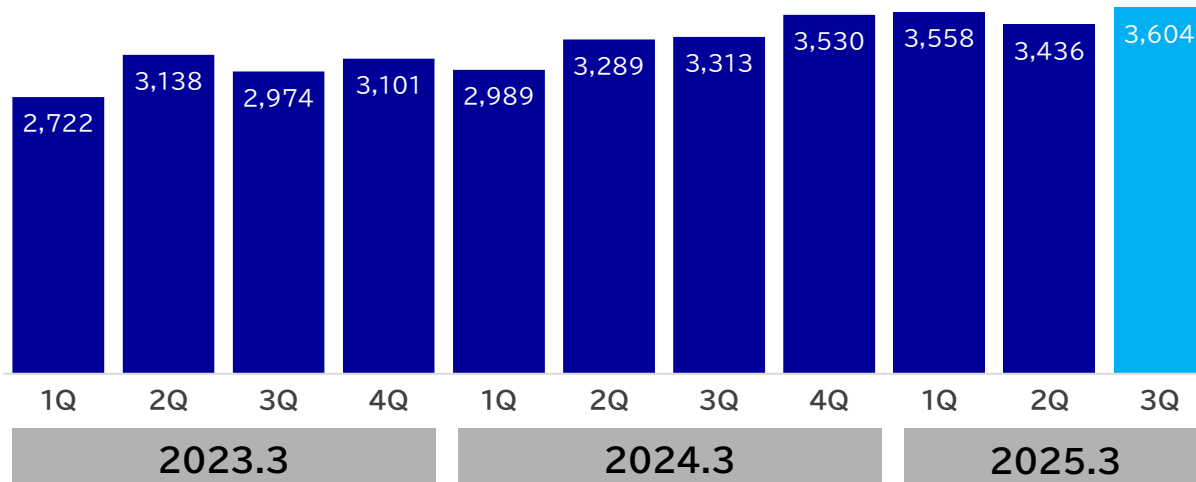
- 世界的な自動車生産の低迷
- OA関連は前期の生産調整から緩やかな回復

事業方針

- 電装化に対応した低騒音・高効率ギヤソリューションビジネスの拡大により自動車は堅調、欧米及び中国の新規開拓の促進(音のブランディング)
- 中国生産拠点の再編による生産性の改善(4Q以降)

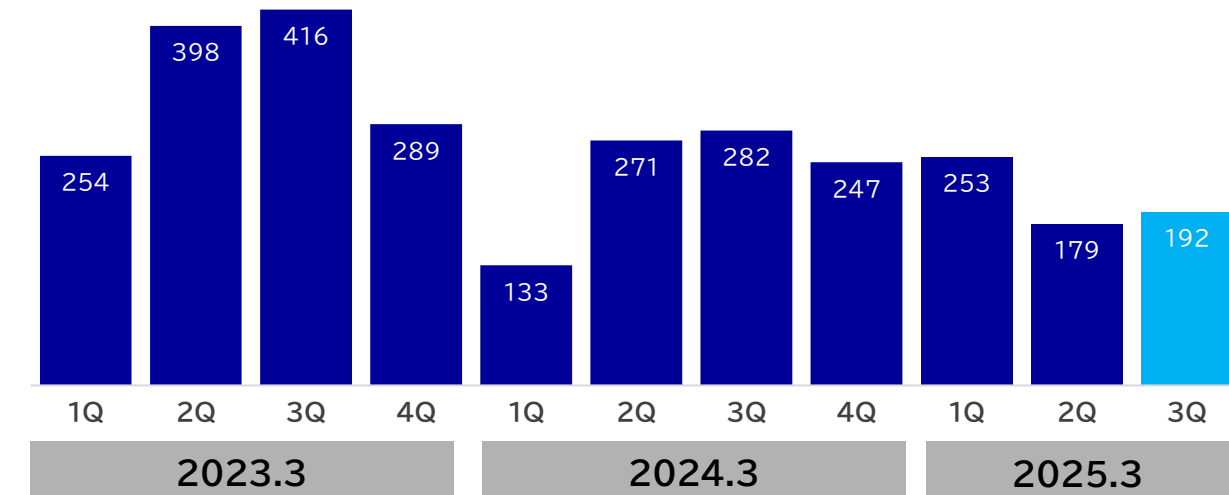
<売上高の推移>

(単位: 百万円)



<営業損益の推移>

(単位: 百万円)



※2023/3期、2024/3期は方針変更前の実績にしております。

株式会社エンプラス 決算説明会

<https://www.enplas.co.jp/>
(東証プライム 6961)

本資料で記述されている業績見通し並びに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、さまざまな要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。